



2019～2020年度
茅ヶ崎中央ロータリークラブ



会長方針

第36代会長 當間安弘



《会長スローガン》

「まちの笑顔は、クラブの笑顔から」

《会長方針》

私たち一人ひとりが、いくつものコミュニティーや組織に所属しています。
ロータリークラブもその一つです。

ただ、他のコミュニティーや組織との差は、国際組織であり、200を超える国・地域に120万人の仲間がいることです。

幅広いネットワークを活用して、まちに笑顔を創りましょう。

まちを知り、クラブを知ってもらう。

まちを学び、仲間を増やす。

まちに出で、奉仕を実践する。

共に学び、まちに笑顔を創りましょう。

幹 事

倉 知 克 則

當間会長方針に則り、「笑顔のある」「笑顔が出る」クラブの効率的な運営をサポートします。

会場監督

会 場 監 督 山 崎 正 三
副会場監督 峯 山 文 明

ゲスト・ビジターの紹介を正確に。

例会の開始・終了の時間厳守。

例会場への入場・退場の許可・例会場の開門・閉門。

早退・遅刻の承認や拒否。

私語に対する警告。

卓話の時間厳守例会場の設営・座席の指定（親睦委員会と連携）。

以上副S A Aと共に例会がスムーズ進めるよう計画いたします。

職業奉仕委員会

委 員 長 赤 間 浩 正
副委員長 沼 上 憲 雄

国際ロータリーの奉仕活動の指針の2番目に職業奉仕とあり、職業奉仕は、事業及び専門職務の道徳水準を高め奉仕の理念を実践していくという目的を持つもので、ロータリアンとして自分自身を律して事業を行うものであると要覧にあり、昨年度に続き今年度も、会員諸兄の会社の業種、概要、または、職業を通しての奉仕の実践等を発表して頂きたく活動方針を予定しています。

クラブ奉仕委員会

理 事 倉 澤 条 太

プログラム・親睦・友好クラブの三人の委員長を中心として、メンバー全員体制で、常に問題の共有化を図り、風通しの良い委員会を目指します。

プロ グラム 委員長(副幹事) 中 川 信 義
委 員 峰 純里子

地域に係る外部卓話者を多く招くよう努めつつ、炉辺会合を実施するに於いては、会員間の相互理解と親

睦が深まるよう取組み、年間を通してクラブ皆が楽しめる例会運営を目指します。

親睦委員長 一 杉 直 樹
委 員 林 正 基 魚 躬 剛 小 山 博 樹
清 野 克 人 松 井 昭 彦 関 野 智 玲
高 山 正 男 今 出 川 晴 信 本 間 多 佳 泰

会員相互の親睦がスムーズに図れるよう、会員、会員家族様がクラブイベントを楽しめるように会員皆様のお力をお借りして運営していきたいと思います。また、委員会メンバーにおいては出席率の向上を促したいと思います。与えられた委員長のお仕事を1年間楽しんでできるようにしたいです。

ソングリーダー 山 田 悅 子

歌♪で、心を一つに、歌詞の意味を理解して、心を込めて歌いましょう。

スマイルリーダー 阿波蓮 教 智

本年度も奉仕活動の源泉となるスマイルを安定的に確保するため会員各位にご理解・ご協力をお願いしてまいります。前年度を少しでも上回ることを目標とします。

出席リーダー 加 藤 順 一

出席：例会出席はロータリアンの3大義務の1つです。

会長方針である出席の促進ならびにメーキャップの促進を図るために、出席報告時に近々のメーキャップ可能な事業などの紹介をする。例会出席にご協力よろしくお願ひ致します。

友好クラブ委員長 佐々木 保 博
委 員 三 沢 護 相 馬 秀 幸 魚 躁 剛

友好クラブである松江しんじ湖ロータリークラブとの、友好関係を維持すると共に、更なる発展を模索したいと思います。今年度は松江しんじ湖ロータリークラブの25周年の年でもあり、9月23日の記念式典、例会にはクラブの多くの会員が参加出来るように早くから計画を立てて周知したいと考えています。

これまでの15周年、20周年の記念式典、毎年4月の観桜会に参加ご協力頂いた皆様をはじめ、まだ松江を訪問したことのない会員の皆様も参加ご協力よろしくお願ひします。

国宝の松江城、出雲大社、足立美術館、安来節等々、見所満載です。

会員増強委員会

理 事 木 村 康 治

会長から要請された、純増3名（うち女性1名）の会員増強目標を完遂するため、当クラブの特色を週報を通し、内外に発信するとともに、あらゆる親睦活動を通じ、広く魅力をアピールすることにより、新たな仲間の加入を促進していきたいと思います。

会員増強委員長 松 岡 慶 純

委 員 松 井 昭 彦 相 馬 秀 幸 山 口 英 雄
峰 絵里子 湯 山 文 夫

会員増強委員会の役割は、会員増強のための行動計画を立て、これを実施することです。

本年度はベテランと若手の有用な情報交換を行うべく、炉辺会合やロータリー研究会、食育の会等の機会を積極的に活用して現会員数の1割増を狙います。

クラブ会員情報委員長 神 尾 元 洋

委 員 峯 山 文 明 林 正 基 関 野 智 玲

本年度はホームページのリニューアルを行い、会員への円滑な情報提供およびアーカイブのデジタル化を推進します。また、ロータリークラブ活動のPRを通して会員増強につながる運用を行ってまいります。

その他、多様なソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を使った情報公開の手段を模索してまいります。

会員選考・職業分類委員長 内 田 誠 郎

委 員 熊 沢 信 行 山 口 健 森 下 行 由

会員増強のなかで魅力ある方、質的向上を目指し推薦者及び被推薦者がクラブ定款の会員資格の条件を満たしている事を確認し、理事会に報告します。当委員会はクラブ入会条件として次の点を考慮して選考します。

- 1) 職業内容的、社会的にも信頼されている事
- 2) 規定通りの例会に出席できる事
- 3) 財政的に義務を果たす事
- 4) メンバーとして親睦と友情を深める事
- 5) クラブ活動に積極的に参加する事

奉仕プロジェクト委員会

理 事 小 川 一 雄

多くの人たちを笑顔にする社会奉仕・国際奉仕とは何かを考える一年にしたい。

卓話・フォーラム・炉辺会合を通して40周年に向けて会員が積極的に奉仕活動に邁進できるプログラムを見つけていきたい。

イタリア・トリノの書展の後援者であるトリノ北ロータリークラブ・エンニョ会員が国際ロータリー2031地区ガバナーに就任されることに伴い書作品を寄贈し、国際ロータリー2031地区の社会奉仕に役立てて頂きたいと考えている。日本文化の普及と国際ロータリー2031地区及びトリノ北ロータリークラブとの親睦を深めたい。

社会奉仕委員長 嵐野 貴 央
委 員 山 田 悅 子 加 藤 順 一 三 澤 護
矢 島 淳 一 阿 波 蓮 教 智

- 1) 社会奉仕事業に関する企画・運営。
- 2) クラブ情報委員会が参加出来ない事業の事業報告（トピックス）の作成。
- 3) 2780地区エンドポリオナウキャンペーン事業への参加。
- 4) 地域公共イメージ向上に繋がる事業への参加と協力。

国際奉仕委員長 野 崎 幸 夫
委 員 池 亀 武 士 藤 原 琢 也
本 間 多 佳 泰 清 野 克 人

本年度は、国際奉仕たる原点を学び、国外クラブで築き上げてきた相互関係に努め親睦を深め、世界をつなぐ奉仕とは何かを学ぶ年度といたします。

事業予定 イタリア・トリノ北RC親睦
台北北門RC親睦

ロータリー情報委員会

理 事 山 口 洋一郎

今年度、當間会長の方針は「まちに笑顔は、クラブの笑顔から」であります。

クラブの笑顔はクラブメンバーがお互いをよく理解することは勿論ですが、ロータリー活動をよく理解し共に楽しく活動することによって笑顔が生まれると思います。

当委員会では、ロータリー活動をクラブの皆が良く理解するため、日々の例会を中心に、特に月初の例会では、地区出向委員の報告や「ロータリーの友」の紹介など様々なロータリー情報をクラブメンバーに発信します。

ロータリー財団、米山奨学については、各月間において財団学友や奨学生の卓話をお願ひし、その意義を

確認し「世界のためになる有為な人材」日本と世界の架け橋となる人材」育成のため、会員の寄付の協力を
お願いいたします。

研修委員長 小山 博樹
委員 矢島 淳一 山口 英雄

今年度は皆様の笑顔と共に、より一層和気藹々とした雰囲気を作り、新会員をはじめクラブ経験の浅い会員にできるだけ研修会の機会を設けて理解を深めていただきます。

特に、ロータリー情報研究会は若手による運営組織をつくり、気軽に参加し、親睦を深めながらロータリーの勉強する雰囲気を保ちながら、色々なテーマ、仕掛けを企画し、多くの会員の参加を促したいと考えています。

- ・ロータリー情報研究会の開催（食育の会と協働）
- ・新会員オリエンテーションの実施 等。

財団委員長 前川 義憲
委員 高橋 功 鈴木 和夫 今出川 晴信

例年通り、地区目標は、年次寄付200ドル以上／1名・ポリオ寄付40ドル／1名・恒久基金1,000ドル以上／1クラブ、と示されました。多額の寄付よりもひとりでも多くの会員からの寄付が大事であると、また、できれば、財布から直接現金で…とも。会員各位のご協力をお願いします。

ロータリー財団への理解を促すために、11月5日財団学友の片岡舞氏に卓話をお願いする。

米山奨学委員長 石田 忠勝
委員 池亀 武士 城田 安正 湯山 文夫

ロータリー米山奨学事業の特徴は『将来、日本と世界を結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する』であります。

米山奨学寄付金には「普通寄付金」と「特別寄付金」が有ります。

1. 普通寄付は各クラブで決まった一人分の金額を会員人数分の寄付
2. 特別寄付は個人、法人の任意での寄付

地区の米山奨学寄付金推奨は個人平均寄付額￥20,000です。

当クラブは今年度も普通寄付は1人￥1,000です。地区推奨の￥20,000を達成する為、特別寄付のご協力を
をお願い致します。

米山奨学事業への理解を促す為、10月1日米山奨学生の付佳偉君に卓話をお願いする。

クラブ戦略委員会

委員長 藤原琢也

多様化するロータリークラブの現状を踏まえて、クラブ細則の見直しや法人会員等に関する諸問題を委員会から発信をし、理事会、クラブ協議会に提案をして参りたいと考えております。

ロータリー情報研究会 山口 健 小山 博樹

茅ヶ崎中央ロータリークラブは35年たちました。一方ロータリー情報研究会は10年以上たちました。始めたころは新会員への情報提供でしたが、最近は新会員に出席が思わしくありません。

そこで、若手による運営組織をつくり、気軽に参加し、親睦を深めながらロータリーの勉強する雰囲気を保ちながら、色々なテーマ、仕掛けを企画し、多くの会員の参加を促したいと考えています。例えば、食育の会と協働でロータリー情報研究会を開催する等。

食育の会 木村康治 堀川正夫 倉知克則

食を通じ、会員相互の親睦を図り、会の活性化に取り組むとともに、新会員を発掘する手段、としての機能も果たしていきたいと思います。

ミスッターズ 山口洋一郎 長田洋二

ミスッターズは模様替えをした2015年から数えて今年度で4年を迎えました。回数も年4回、合計15回となりました。そして、参加者は30名を超え、何よりも女性の参加が多くなり、華やかなコンペとなっています。成績も、初心者等でも優勝できるようハンディも最高60までとしています。又、1回ずつの優勝者と、その年の4回の優勝者で争うグランドチャンピオン戦も行われ熾烈な戦いに勝つと名誉あるチャンピオンに輝く仕組みとなっています。

今年度は下記の日程での開催を予定しています。

第16回 初秋コンペ 9月14日(土) 伊豆スカイラインゴルフクラブ

第17回 総会コンペ 12月3日(火) 清川カントリーゴルフクラブ

兼年間グランドチャンピオン戦

第18回 花見コンペ 4月7日(火) 平塚富士見カントリーゴルフクラブ

第19回 初夏コンペ 6月13日(土) 富士グリーンヒルゴルフクラブ

そのほか、地区関係のゴルフも予定されています。

2019-2020年度 地区親睦ゴルフ大会 10月7日

2019-2020年度 第4グループ6クラブゴルフコンペ 11月19日(火)

スリーハンドレッドゴルフクラブ 当クラブが幹事クラブとなっています。

以上、今年度もゴルフを皆で楽しみましょう。新人もお待ちしています。